

相談室ニューズレター 第6号

2023年 10月発行

<https://soudan.jccj.or.jp/>



総務局相談窓口の報告

総務局相談室長 小岩裕一

2020年4月に教団総務局の相談室が開設し、3年が経過しました。皆様のお祈りと協力によって、微力ながら相談業務を継続できました。相談者の「保護」「支援」「秘密保持」を最大限尊重して、相談内容の解決に向けて、一般社会情報やキリスト教界の適切な情報を提供し、具体的な助言や支援をしております。何よりも、キリストの教会の徳が高められ、主の最善がなされるように、祈りつつ、慎重に相談に応じています。

1、相談室の体制



(1) ハラスメント(セクハラ・パワハラ)相談窓口

担当者：木村勝志 仁科早苗 小岩喜代美

ハラスメントの情報提供 講演会、研修会の協力。ハラスメントの「相談者」への対応。

ハラスメントの専門家(法律、心理、キリスト教関係専門家など)との協力体制。

(2) 異端・カルト相談窓口：

担当者：小泉創 船田献一

異端・カルトの最新情報の提供。教会カルト化の評価と対応。講演会、研修会の協力。被害者、被害者家族の相談。

(3) 牧会カウンセリング相談窓口：

担当者：小岩裕一

教学局と協力しながら教師の相談に応じています。精神科やカウンセリングの受診の助言。精神医療の情報提供。

2、相談室の現状



(1) 一般の方、教団内外からの相談

教団ホーム・ページを検索してのメールや電話の相談があります。すでに知っている人からの紹介もあります。一般の方や教団外の牧師、信者の相談の方もあります。匿名の相談や一回限りの相談も多くあります。

(2) 相談内容

異端・カルト問題、ハラスメント(パワハラ、セクハラ、モラハラ)の悩み、牧会カウンセリングに関わる内容が多いようです。

「小さなこと、ささいなこと」の背後に深刻な問題があるケースもあり、丁寧にお聞きしています。

しかし、単なる「キリスト教批判」「教会、牧師批判」の場合もあります。批判をされる方もその方なりの理由がありますので、その「批判」は丁寧にお聞きします。

また、情報提供だけで良い方、「自分の悩みを聞いてもらうだけで十分」という方もいます。

(3) 継続的相談

継続的な相談や支援が必要な場合があります。相談してきた方に寄り添いながら、その方の希望にそって、慎重に解決に向けて話を進めていきます。「その問題」に押しつぶされてしまわないように、主が支え、知恵を与えてくださることを祈ります。解決方法は、各人、各様ですので、相談されてきた方に合わせて、一緒に考えていきます。

3、相談者の置かれている環境



(1)生きづらい現代の日本社会

現代の日本は、人口も経済も縮小し疲弊しています。少子高齢化、過疎化などで、人間関係も孤立しています。戦争や暴動、地震や自然災害も頻繁に起こり、生活にも不安を覚えます。先の見えない不安な社会は、私たちの生活や心にも悪影響を与えています。「悪いニュースを見るだけで鬱になる」方もいます。統計的にも精神的疾患を患う人は増加しています。多重問題を抱えて、「生きづらい」社会になっています。

(2)キリスト教会が抱える課題

1990年代までは、日本の福音派は成長していました。しかし、現代の日本のキリスト教会も日本の社会と同じような課題を抱えます。キリスト教会の現実も、財政難、人材難です。福音は永遠に変わらず、聖霊に頼り、祈りつつ前進していますが、成長期の宣教方策が通用せず苦闘しています。キリスト教会は、いつも霊的であるだけでなく、現代の課題に対しての現実的な対応が必要です。

(3)牧師、信徒の課題

多くの相談から感じることは、このような多くの課題がある中で、「ひとりの人」ができることは、限られているということです。孤軍奮闘せず、「無理をしないこと」です。主に支えていただくと共に、人からも適切な助言や支援をしてもらうことです。その一つとして、相談室を活用してください。

4、相談室からの提案



(1)自分も相談する人も「余裕」を持つために

現代の傾向は、「頼れる人がいない」、「手持ちのお金がなくなってしまう」、「精神的に落ち込んで何もできない」と負の連鎖に入ってしまうことです。社会の専門家も「もう少し余裕がある時に、相談して下さったならば、もう少し何とかなったのに」と指摘しています。

相談者自身も、家族も、友人も「余裕がない」状況です。相談者も、相談に応じている方も、相談室を活用し、少しでも「余裕」が持って、対応できるようになれば幸いです。

(2)高齢化の対策の一つ

自分自身も教会も高齢化し、「過去できたことが、今できなくなっている」です。教会内でも互いに注意していますが、どうしても、勘違い、行き違い、ミスが増えてきます。寛容さと柔軟性がなくなると、教会活動は硬直化し、生き生きとした活動が失われてしまいます。また、「怒りにまかせての言動」は、人を深く傷つけてしまいます。自分自身を謙虚に吟味することはお互いにとって大切なことです。

(3)「よくわからないこと」の相談

全世界の混迷が深くなっていることは否定できません。ですから、インターネット上では「陰謀論」「不健全な終末論」「不健全な心霊現象」の情報が増加しています。キリスト教界でも「健全なキリスト教情報」から「あやしい異端・カルト情報」まで玉石混濁状態です。一見しただけで、判断するのは困難な状況です。被害者は、「気がつかないうちに、いつのまにか、騙されて、抜けられなくなっている」のです。その前に相談してください。

総務局 相談室 ハラスメント・牧会相談窓口HP

<https://soudan.jccj.or.jp/>

※過去のニュースレターも

ダウンロードできます。

ニュースレターに関するお問い合わせは、

仙台国見教会・小泉までお願いします。



異端・カルト団体の手口

問題のある団体は様々な形で接触してきます



ネットで高校生
に受験のアドバイ
スしてくれる

スポーツ・音楽
サークルを通して
人間関係を作る



孤独を感じている
時「自信回復キャ
ンプ」に誘われる



SNSで知らない
クリスチャンから
友達申請が来る

ネットワークビジ
ネスに誘われる



「親切な先輩」が
進路相談にのって
くれる



ボランティアを通して
人間関係を築く



風水・占い
姓名判断

「いい人たち」がた
くさん褒めてくれる



- ・自分は大丈夫と思っていても、異端・カルトの被害にあってしまうものです
- ・どのような背景があるかわからない人、主催者が曖昧なものには近づかないようにしましょう
- ・必要以上に褒める。こんなにいい人なら大丈夫と思わせる。断るのが申し訳なくて勧誘を受け入れる。これらはマインドコントロールの手法が用いられています。
- ・教会外での聖書の学びは注意しましょう。
- ・何かおかしいな、と少しでも違和感を感じたら、牧師に相談しましょう。



Youtubeを通して、
不健全な教えに
はまってしまう



恋愛・結婚
相談セミナー



一緒に奉仕をして
いるが、所属教会
がよくわからない人
がいる

「転換期」の新しい
チャレンジとして、
勧誘される



国際色のあるコン
サートに誘われる



SNSで知り合った
人とのオンライング
ループに、知らない
「牧師」が入ってくる



イラスト・仁科優一

☆問題のある団体は、時間をかけて信頼関係を築き、断りにくくなったところに、自分たちの教えを学ぶことを勧めてきます。SNSを通じて知り合い、youtubeやオンラインミーティングを通して、異端・カルト団体に深入りしていくケースもあります。「有名」であっても健全なわけではありませんし、ネットで調べても問題がわかりにくい団体も増えてきています。

不健全な教えに支配されると、人格も、人間性も、人間関係もゆがめられてしまいます。早い時期の対応が必要ですので、ちょっとした疑問でも相談してください。

連絡先 小岩裕一 (090-9697-1338) 小泉 創 (090-6624-5501)